

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理
---------	------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	道路建設課長 宇田川 裕之	電話番号	0852-22-6456
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	生活関連道路整備事業		
目的	(1) 対象	県民・道路利用者	
	(2) 意図	県道のうち幹線道路を除いた区間で、一定規模集落から幹線道路や市町村の中心部等への移動時間を短縮する。	
事業概要	市町村合併支援、地域間交流の強化・拡大のため、生活関連道路（幹線道路を除く県道）のうち一定規模集落から幹線道路等を結ぶ優先整備区間（県道の約1/3で構成）を、交付金事業や県単独の道路整備事業を活用しながら、未整備区間を2車線改良や1.5車線の改良等の整備を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	生活関連道路（優先整備区間）のみなし改良率	目標値	72.0	73.0	74.0	75.0	%
	式・定義	生活関連道路（優先整備区間）のみなし改良済み延長／生活関連道路（優先整備区間）の全体延長	取組目標値					
			実績値	71.0	71.7	73.0		
			達成率	-	99.6	100.0	-	%
2	指標名		目標値					%
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	5,189,377	10,133,440
うち一般財源 (千円)	273,802	312,430

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 県内の国・県道の2車線改良率は、全国平均76.9%に対し68.3%（全国40番目）と大きく下回っている。（平成28年4月1日現在の数値）
- 生活関連道路（優先整備区間）のみなし改良率においても73.0%と全国平均を下回っている。
- *のみなし改良済み：車道幅員5.5m以上のほか、1.5車線の改良済み区間及び農道等による代替区間を含む

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 平成29年度は下記工区が供用開始され移動時間が短縮された。

安来伯太日南線 六呂坂工区 L=250m
 印賀奥出雲線 中粉工区 L=220m
 静間久手停車場線 鳥井工区 L=493m
 甲田作木線 日南川工区 L=300m
 海士島線 海土工区 L=262m

など14工区

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 生活関連道路を利用して買い物や通院に出かけるのに時間がかかったり、安全・安心な通行が確保できていない。

②困っている状況が発生している「原因」

- 生活関連道路が未改良であり、対向車とすれ違いができなかったり、カーブがきつくて見通しが悪い区間がある。

③原因を解消するための「課題」

- 道路整備に必要な予算配分ができるよう国費を確保しなければならない。
- 整備が必要な区間が多いことから効率的・効果的な整備を実施する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 国に対し地域の実情に応じた予算が配分されるよう丁寧に状況を説明し、必要な予算が配分されるよう要望していく。
- 整備に当たっては利用状況に応じて1.5車線整備を活用していく。